

会 議 録

会議の名称	第五次座間市総合計画策定に係るまちづくり懇談会		
開催日時	令和4年5月13日（金） 19時00分～21時00分		
開催場所	北地区文化センター大会議室		
出席者	<p>【市】</p> <p>佐藤市長、三浦副市長、大木企画財政部長、森山総務部長、山本環境経済部長、白井健康部長、中島福祉部長、野口都市部長</p> <p>【参加者】</p> <p>市民等 22人</p>		
事務局	企画財政部企画政策課		
会議の公開可否	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開	傍聴者数	— 人
非公開又は一部公開とした理由	—		
議 題	第五次座間市総合計画の素案作成に対する意見交換		
資料の名称	まちづくり懇談会 第五次座間市総合計画（ざま未来プラン）における政策・施策について		
会議の結果			
	意見交換		
議事の詳細			
	別紙のとおり		

1. 開会
2. 市長挨拶
3. 資料に関する概要説明

別ファイルにまとめています。

4. 意見交換

【コンサルタント】

ありがとうございます。説明が終わりましたので、これより、意見交換に移ります。意見交換ですけれども、今説明がありました1から7の政策ごとに行います。1政策につき概ね10分程度とし、最後に総括的な意見交換の時間を設けたいと思います。なお、御意見のある方は挙手していただき、私が指名した後にマイクをお渡ししますので、マイクを通じて御発言をお願いします。時間に限りがありますので、できるだけ簡潔に御意見・御質問いただければと思います。

それでは、まず、政策1「共に学び、健やかに育つまちづくり」について御意見のある方は、挙手をお願いします。資料ですと、4ページの政策になります。

それでは、入り口側の方、よろしくお願いします。

【参加者】

〇〇と申します。昨年まで、私も役所でお仕事をいろいろとやっていて、教育委員会で仕事を40年続けてきました。今日はちょっと代理といたしますか、代弁で来ました。

特に、北地区文化センターが、座間では、不登校・登校拒否の子供たちの居場所をつくる最初の場所になったということもあって、不登校を語る会、それから、ひがしフリースペースのボランティアの方たちと話をしてきました。今日は政策的に、是非、これは教育基本計画だとか実施計画だとか事業計画のプランができたときに、申し上げればいいのかもかもしれませんけれども。総合調整的な役割を果たす基本計画として。

一つは、授業時間内の学校外の居場所づくり。既に学習支援教室というのが、1つ市にはありますけれども、今、不登校・登校拒否の子が、料理ですとか、発達障害と呼ばれている子供たち含めて教養文化活動をする機会が失われていて、ましてや、学校に行けないという状況を学習支援という形では、教育委員会は支援する必要があると考えています。そういう部分で、日中の子供の居場所づくりというものをプランの中に掲げていただきたいと思います。

【コンサルタント】

ありがとうございます。市長、いかがでしょうか。よろしくお願いします。

【市長】

御意見いただきまして、ありがとうございます。不登校のお子さん方の課題についての対応が、日中の子供の居場所というところで、御意見をいただきました。日頃より、この北地区文化セン

ターまた東地区文化センター、また不登校の関係でボランティアに関わっていただいています皆様方には、本当にありがたいと思っています。

今ちょっと触れていただきましたが、教育委員会の所管にも関わりますので、私からはなかなか踏み込んだところは、お答えをしづらいところですが、課題として、教育委員会とも話し合いをしながら、課題として感じていることです。また、市内で民間の活力なども含めて不登校の問題については、しっかりと向き合っていかななくてはならない課題だと考えています。児童発達支援センターも今取組を進めているところですので、そういったものも含めてしっかりと向き合っていかななくてはならない課題だと認識をしています。御意見受け止めさせていただき、教育委員会とも共有をしたいと考えています。御意見いただきまして、ありがとうございます。

【コンサルタント】

ありがとうございます。その他、御意見いかがでしょうか。よろしいでしょうか。また、最後に全体を通しての意見交換の時間を設けていますので、その時にまたこちらの政策に関する事がありましたら、御意見いただければと思います。

それでは、次の政策に移っていきます。次は政策2「地域の魅力を高め、にぎわいのあるまちづくり」です。この政策2について、御意見のある方、挙手をお願いします。いかがでしょうか。地域の魅力向上、市民協働、産業振興といった施策、テーマになっています。よろしいでしょうか。それでは、次の政策に移ってまいります。また最後の時、何かあれば追加で御意見いただければと思います。

続いては、政策3「安全安心で環境にやさしいまちづくり」です。資料でいきますと、6ページの政策3になっています。こちらの政策3について、御意見のある方、挙手をお願いします。よろしいでしょうか。安全・安心な生活環境整備、防災・減災、あと地球温暖化対策、資源循環の推進、消防力の強化といった施策になっています。よろしいでしょうか。それでは、こちらもまた最後、何かございましたら、御意見をお願いします。

それでは続きまして、政策4です、「健康に暮らせるまちづくり」に移っていきます。こちらの政策4について、御意見のある方、挙手をお願いします。こちらは健康医療でありますとか文化スポーツといった施策になっています。いかがでしょうか。せっかくの機会ですので、何かございましたら御意見いただければと思います。よろしいでしょうか。

それでは、次の政策に移って参りたいと思います。続きましては政策5「共に認め合い、支え合うまちづくり」です。カラーの資料の8ページの政策5になっています。こちらの政策5について、御意見のある方、挙手をお願いします。

それでは、後ろの方、お願いします。

【参加者】

相模が丘5丁目にいます〇〇と申します。この地域で、障がい者福祉事業などを携わっている者として、発言をしますが。決定資料というのでしょうか、そちらのほうに政策ごとの成果指標というような記載もありまして。ちょっとそここのところについて、疑問に思ったことがあるのでお話をさせていただきたいのですが。

「障がい者の支援」の欄にあります成果指標というのが、これいろいろある中の抜粋というか代表的なものというような位置付けなのかなとは思いますが。障がい者への支援の部分が施設入所者の地域生活移行者数というようなところが、2行にわたってあるのですが、これもすごく大事なことは認識していますし、今多くの事業者が福祉に関わっているのも事実であります、こういったトライというのは致命的な部分でありまして。なぜそれが成果指標になっているのか、ということをお話していただければと思います。

また、その部分の中に「互いに認め合い、支え合うまちづくり」というところですから、施策の中のどこかには網羅されているのかなと思うのですが、市内にも多くお住まいの外国にルーツのある方々への施策と申しますか、お考えについても、お聞きしたいと思います。

【コンサルタント】

ありがとうございます。こちらの白黒の資料の5ページに政策5の詳細の記載があります。その中の障がい者支援の成果指標に関する御意見だったかと思えます。こちらは、市長、いかがでしょうか。

【市長】

御意見いただきまして、ありがとうございます。障がい者の支援ということで、障がい者が自立して生活できるように支援するというのが施策の方向性ですので。こういった成果指標の選択をしていますが、成果指標に関しましては、まだまだこれから詳細は、具体的なものについては、詰めていきたいと思っていますので、今の御意見なども参考にさせていただきたいと思えます。

また、外国にルーツのある方々への支援ということかと思えますが、これまでも生活困窮のところですか、市民相談のところですか、国際交流など、またそれぞれの方が学校の中で困り事に関しては、学校の中で教育委員会などと連携しながら、そういった方々への支援をしていますので、これまでの支援を継続的に行っていくという考え方でいますので、本日いただいた御意見も受け止めさせていただきたいと思えます。以上です。

【コンサルタント】

ありがとうございます。その他、この政策5について御意見のある方、いかがでしょうか。挙手をお願いします。地域福祉、高齢者支援、要介護者等の自立支援、障がい者の支援、生活困窮者の自立支援といった施策になっています。よろしいでしょうか。こちら、また最後、まとめ

の時間も取っていますので、何か思い付いたこととかありましたら、最後、言っていただければと思います。

それでは、次の政策6に移ってまいります。政策6は、「緑あふれる快適なまちづくり」といった政策になってございます。こちらの政策6について、御意見のある方、挙手をお願いします。それでは、窓側の前の方、お願いします。

【参加者】

相模が丘の〇〇と申します。相模が丘3丁目のなかよし広場の前にアパートが建ちました。公園で遊べるところがとても狭くなってしまいました。子供たちが遊ぶ場所もどんどんなくなっている気がします、市内の中で。公園とかなかよし広場、御厚意で使わせていただいているという形をとっているところも多いかと思うのですが、20年後、30年後、もう子や孫世代とかが子育てする頃には、もう遊び場がなくなってしまうのではないかという恐れがあります。せめて残った場所は、ずっと使えるように何とか、なかよし広場も相当狭まってしまいましたけれども、何とかそれを市で対策を取っていただいて、いろいろな地主さんの税金対策とかでなくなってしまうとか、いろいろあると思うのですけれども、何とか市で対策を取っていただきたいと願っています。以上です。

【コンサルタント】

ありがとうございます。市長、よろしく申し上げます。

【市長】

御意見いただきまして、ありがとうございます。今、御指摘いただきました、なかよし広場、地権者の方の御意向等で、今のような形になりました。当然、市としても、残された貴重な遊び場ですので、できる限り、残していきたいという思いで交渉等もさせていただいたところでありまして、なにぶん、ああいった土地は、地権者の方の御意向というのが第一優先というか、お考えがありますので、なかなかその御理解と市の思いと一つにならないと話が進まないというところもありまして、今の形に何とか御理解をいただいた、というところではあります。ですが、今ある貴重な広場等をできる限り、当然、維持をしていきたいと考えていますし、相模が丘に関しましては、仲よし小道さくら百華の道を都市公園として指定させていただきまして、維持管理を今後しっかりとやっていきたいという思いでいます。また、今後、この相模が丘の地域は、緑地や公園等が大変住宅が密集しておりまして、大変少なくなっているところでもございますので、今後も機会を捉えて広場等の確保に努めていきたいと考えています。以上です。

【コンサルタント】

ありがとうございます。その他、この政策6について御意見ある方、いかがでしょうか。
それでは、入り口側の真ん中の方、よろしくお願いします。

【参加者】

相模が丘3丁目に住んでいる〇〇と申します。なかよし広場の件に関しては、さっきの御意見と全く同じで。私も50過ぎて、半世紀以上楽しんでやっていますけども、あそこが私有地だったということは全然分からなかったです。

自分が子供の頃は、相模が丘1丁目、3丁目、あとは自分の学区ですと4丁目。要するにそれぞれのところに広場があって、そこに近く住んでいる子供たちはそこで遊ぶような環境があったのですけれども。そういったところがどんどんなくなって行って、マンションになり、住宅になり。そういう形で子供の遊ぶ場がない。今、相模が丘小学校に通っている子供たちがほとんど、なかよし広場を利用している。だから一見、子供の数が、広場で遊んでいる子供の数が多く見えるのですが、それはちょっと錯覚というか。要は、学校に通っている子供たちが一斉にあそこに行っているだけの話。全然分散されてない。去年ですか、コロナの時とか、要するに学校が休校になる、そうすると、中学生なんかも行くところがないそうです。そうすると、小さい子供から中高生まで一緒になって、それぞれやって来る。球技とかやると、ちょっと小さい子が危ないのではないかな、と思ったりもするのですけど。ですから、ちょっと難しいとは思いますが、市として、何かこう、公園に関しては子供の居場所、公園や広場に関して。そういったところに関しては、地権者の意向もありますけれども、もうちょっと座間市の姿勢というか、主体性を発揮していただければなと思います。

あと、この道路に関しまして、2年前ぐらいに、座間街道は県道になるので、座間市とちょっと管轄が違ふと思うのですけれども。そこの車道を車いすの方とオートバイですね。車いすの人が傘でバイクのウインカーのところに傘で引っかけて引っ張ってもらっているのを見たことがあるのです。危ないことするなと思ったのですけど、最初は。そうしないと車いすの人がちゃんとまちを出歩けないという事実があるのです。要するに歩道が狭過ぎて、段差が大き過ぎて、車いすのままだと通れない。ちょうどオリンピック、パラリンピックの前ぐらいで、そういう姿を、光景をちょっと目にしたものですから。やはり、障がい者が出られない。という話ではなくて、私のような、私の世代が、要するに高齢者といわれたときに、もうやばいのではないかな、という話になると、ちょっと対策としては遅過ぎる。要するに、その辺の高齢者社会を見据えたインフラも、ちょっと考えていただきたいなと思います。以上です。

【コンサルタント】

ありがとうございます。一つ目の御意見は、先程の御意見に関連することだったかと思います。二つ目は、高齢者主体に対するインフラと道路の課題だったかと思います。市長、よろしく願います。

【市長】

貴重な御意見をいただきまして、ありがとうございます。なかよし広場の件は、御意見として受け止めさせていただきます。

また、道路の関係ですが、今、県道のところの段差があったりですか、歩道が大変狭くなったりしているということについての御指摘かと思います。おっしゃっていただいたとおり、県道ですので、県に毎年要望としてあげさせていただいておきまして、機会があるたびに、そういった要望をあげさせていただいているところであります。そういった機会を通して、今後とも要望をあげていきたいと思っています。また、市内の道路のインフラがどのような考えかということですが。例えば、バリアフリーの関係ですと、座間市交通バリアフリー法基本構想というものをつくっており、また、座間市総合都市交通計画なども策定をしております、こういったものを踏まえながら地道に道路の整備等を進めていっているところではあります。やはり地権者の方のお考えなども含めて、なかなか交渉というのは難しいところがありますが、機会を見まして、担当も地道に交渉を進めているところでもありますので、少し時間がかかるかもしれませんが、このような考え方に基づいて市民の皆さんの安全・安心に生活ができるような道路整備を進めていきたいと考えています。以上です。御意見ありがとうございました。

【コンサルタント】

ありがとうございます。それでは、窓側の後ろの方、願います。

【参加者】

相模が丘5丁目の〇〇といいます。今日はありがとうございます。この政策で1点ちょっと分からないのですけれども。上下水道のところ、**「水道水を安定的に供給するとともに、次世代へおいしい座間の水をつなぎます」**という一文があったので、ここでちょっと発言させていただきたいと思います。前日か前々日かの市の広報で、P F O S、フッ素化合物の汚染があったという。本当に小さい記事で出ていて。それで井戸水の飲用をやめてくださいというような2行3行のお知らせがあつて。とても小さい記事ではあったのですけれども、非常に不安がよぎりました。というのは、P F O Sというのは非常に有害性が高いもので、私の知る限りでは、例えば基地があるところではそういった被害がかなり出ているということを知っていますので。まさか、この私が住んでいる座間で、そういうことが起きているのかということで、非常に驚いたとともに、不安があります。それで、飲用に関しては、井戸水などは控えてくれというようなお知らせだったので。例えば、農業用水などに使われてはいないのかとか、あとそういった濃

度に関して逐一究明をしていただいて。原因究明ですよ。どこからそういった水が流れて、汚染のもとがあるのかと。そういうようなことを市として取り組んでいただいているのか、また、取り組んでいただいているとすれば、そういったことをちゃんと情報公開をしていただきたいという要望です。何より、座間といえば、水がおいしいよ、と。湧水を使っているよ、ということで、私なんかも外から入ってきて、水がおいしいことは経験しているのですけれども。是非、そういう原因究明、情報公開をお願いしたいということで、発言させていただきました。

【コンサルタント】

ありがとうございます。市長、よろしく申し上げます。

【市長】

御意見いただきまして、ありがとうございます。PFOS、PFOAについてでありますけれども。今、御質問の中でお話がありましたとおり、国ではこのPFOS、PFOAにつきまして、環境基準はまだ明確になっていないのですけれども、目標値というのを定めておりまして。その目標値を若干超す値が出ていましたので、第3水源、その場所に付随するところの第3水源の取水を現在停止しています。その代わりに、県水を活用させていただいて、水の供給をしているところではありますが。この要因につきましては、正直、どこがどうなっているのか、地下のことなので、なかなか要因というのはつかみきれないところでもあります。このPFOS、PFOAが出る原因となっている物質、製品などに関しましても、幾つか候補が挙げられています。その製品についても、製造は今停止がされていますけれども、使用はまだ停止ということではなかったというような状況がありますので、一体どこが要因なのかというのは、私たちは分からない。原因究明というのは、なかなか難しいので、その調査を定期的にするということで推移を見守っているということです。そういった不安があるものに関しては、取水を停止して、県水で対応するという形を今取っていますので、今、その状況を見極めているところ、定期的な検査をしながら、見極めているという状況であります。皆さんに安心して飲んでいただくおいしい水というのは、本市にとっては本当に地下水というのは県内では秦野市もございしますが、地下水を活用した水道水というのは座間の大きな特徴だというふうに思っていますし。自然の恵みで、子供たちもこの座間のお水がおいしいということは、受け継がれていくものですので。座間の宝と思っていますので、今後とも皆さんに安全・安心なお水を飲んでいただけるように努力をしていきたいと考えています。いただきました御意見、真摯に受け止めさせていただきます。ありがとうございます。

【コンサルタント】

ありがとうございます。その他、よろしいでしょうか。

時間の関係もございしますので、また後ほどこの政策6について御意見ありましたら、最後全体を通してというところで御意見いただければと思います。

それでは続きまして、政策7「行財政運営」に移ります。資料ですと、10ページの政策7です。政策7について、御意見のある方、挙手をお願いします。いかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、こちら前の方、お願いします。

【参加者】

最後、全体のところでお話といたしますか、話そうかなと思っていたのですが、多様性社会だとかを謳っているの、ここで一つ実施計画といった市長の細かいものもありますけれども、基本構想、実施計画、事業計画というプラン、プロジェクトという形で政策が組み込まれていますけれども、具体的に今日お話ししても、先程教育振興計画だとか、ああいうものは個別に出るので、その時にも市民参加という形でパブリックコメントを取るなどされていますけれども、実際にこうやって縦割りで考えていく限り、その個別の実施計画だとかプランニングというものは出るものがあったり、出ないものがあったり。要するに政策をどう扱うのかというところが分からないと、実際、私たち生活している部分の課題を出すという部分では、なかなか基本構想のところで申し上げるとするのは難しいのかなと思うのです。それでお伺いするのですが、市民参画を自治体で進めていますけれども、その評価の仕方だとか公開の仕方だとか、そういうところをもう少し整理していただけないかなと思うのです。SDGsの関係でいけば、ウェディングケーキの一番上の部分というのは、インクルーシブな形で全ての事業を進めていくという形で、横断的に調整するような場所というのが必要なのだということ言ってるのだと思うのですが、そういった意味で、市議会だとか委員会だとか、そういうところが声の吸い上げの仕方、どれだけ実際のプランを反映しているのかとか、パブリックコメントの中でどれぐらいプラン取り入れられているのかなとか、そういうことをもう少し分かりやすく私たちに見えるようにしていただけることが大事なかな。

【コンサルタント】

ありがとうございます。市長、いかがでしょうか。

【市長】

御意見いただきまして、ありがとうございます。市民参加についての御意見だと受け止めさせていただきます。基本構想や施策の、大枠のものでパブリックコメントはもちろんのこと、個別の実施計画等における市民参加というところで、なかなかこの基本構想等ですと、具体的なものが見えてこないというところで、さらに詳細なところで市民参加、パブリックコメント等を行い、また、そういったものをもう少し整理をして、分かりやすい形ということだったかと思えます。御意見を受け止めさせていただきます。また、横断的というお話がございましたが、やはり横断的に本市の方向性ですとか、中長期的な視点に立った計画の進め方ですとか、そういったものは大変重要だと考えています。

また、市民参加のところで申し上げますと、これまでなかなか、例えば住民基本台帳を基に抽出してアンケートを出してといったことがあります。当然、パブリックコメントで皆さんから御意見いただくということもやってきているのですけれども、今、DXの関係でLINEのほうが、本市約13万2,000人の人口がいる中で、友達の登録者数が7万人を超えた状況にありますので、そういったものも活用しながら、皆さんの御意見を適切に伺っていくということも、一つの試みとして現在も活用させていただいているところでありますので、そういったものも活用しながら、市民の方々の御意見、またニーズというものを把握していきたいと考えています。御意見、受け止めさせていただきます。ありがとうございます。

【コンサルタント】

ありがとうございます。その他、この政策7について御意見ある方、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、引き続きになりますけれども、全体を通してということで、政策1から7の中、もしくは全体を含めた総括的な御意見ある方いらっしゃれば、御発言いただければと思います。挙手のほう、よろしくをお願いします。

【参加者】

ひばりが丘1丁目の〇〇と申します。交通についてです。朝晩2回、職場まで自転車で往復しています。道路が狭いときに、左側を走っています。ですが、朝、間に合わないときには、時間がないときなど、朝は交通が多くて走りにくい。道路が狭いので、自転車が走りにくいところがあります。道路の幅を広げていただけるとありがたいと思います。

【コンサルタント】

ありがとうございます。道路に関する御意見だと思います。よろしくをお願いします。

【市長】

御意見いただきましてありがとうございます。自転車の関係の道路、通行するのに道路が狭いという御意見だと思います。座間市では自転車ネットワーク基本計画というものも策定をしています。こういったものに基づきながら、先程も少し申し上げましたが、地権者の方の御理解等が得られましたら、整備を少し進めているところでありますが。もし個別でこの場所ということがありましたら、市長への提案という制度もございますので、御意見いただけましたらと思います。また、細かい施設の整備などにつきましては、「なおしてざまりん」というアプリもございますので、そういったものを活用しながら御意見いただけたらと思いますので、よろしくをお願いします。貴重な御意見いただきまして、ありがとうございます。

【コンサルタント】

ありがとうございました。その他、全体を通していかがでしょうか。
それでは、後ろの方よろしく申し上げます。

【参加者】

〇〇です。是非言いたかったことが一つあります。それは、ペDESTリアンデッキ建設のことです。最初にその話が出たときに、わが家では第一声「必要なのだろうか」というのが、家族中の感想でした。ただ、いろいろな経緯で必要だということで政策のほうには入っていったのだと思いますけども、その辺りのペDESTリアンデッキを作るという経緯のようなものが、どの場面で知らされてきたのかなということが一つ。あとやはりそういうのが駅前にできてきますと、格好良いですよ。見た目が。だけれども、私、最近、よく公民館とかそういった公共施設を使わせてもらっているのですけれども、はっきり言って、この公民館などの公共施設が非常に老朽化している。トイレも和式だし、みんな使う人は高齢者が多いのですけれども、和式なんか私、入りませんよ、もう。けれども、洋式、後付けした洋式のトイレ一つあるぐらいで。それは特に北地区文化センターをほとんど使ったりする。北地区文化センターだけに限らないのではないかと思うのですけども。そういった公共施設のリニューアルだけでも、デッキを作るお金を回してもらえると全然違うのではないかなと思っているのです。見た目は、駅前のように格好良くなるのは、今中止っていうか、中止ではないですよ、何でしたっけ、凍結ですよ。凍結だから、優先順位としては低いという、皆さんのお考えで、それは妥当だと私は思っているのですけれども。できれば、あそこに使う何億というお金を、もっと地味なところ、先程の方がおっしゃったような道路、歩道を拡幅するだとか、トイレをもっときれいにするだとか。今回、相模が丘のコミセンがリニューアルをするということで、そこが使えなくなるわけですね。そこで使えなくなって、今まで使っていたサークルの人たちがここに来て、場所取りをするということで、この前私も参加してきましたけれども、もう混沌としています、本当に。いっぱい集まって。希望は通らない、抽選になる、話し合いになると、まとまらない。そのような状態なのです。やはり公民館とかこういった公共施設というのは、地域のわれわれが本当に身近で活動できる場所。そういう意味では、非常に助かっている場所なのですけども。是非、そういうふうな地味なところで、お金を、我々の税金を使ってもらいたいということで、是非このことは皆さんにお伝えしたいと思って発言させてもらいました。ありがとうございました。

【コンサルタント】

ありがとうございます。市長、よろしく申し上げます。

【市長】

御意見いただきまして、ありがとうございます。小田急相模原の駅付近のペDESTリアンデッキ、歩行者用のデッキということで、この建設については昭和63年に、まずこの計画が報告を

されました。その開発については、しばらく、なかなか進まない、いろいろな要因がございまして、しばらく進まないような状況もありまして。平成2年に市街化の再開発の準備組合が設立をし、そこからペDESTリアンデッキについて、その時々で進めてきた経過があります。それが、いろいろな開発の経過の中で、今回、私が一時凍結をいたしました。今、小田急相模原駅側のラクアル・オダサガとリビオのマンションをつなぐような歩行者デッキを作るという計画が、もともとございました。これを進めていこうと考えていたのですけれども、ちょっと今のこの時節柄の関係もありまして、約3億円の、この事業の見積もりをしていたところが、6億円ということもありまして。それから、また今御指摘いただきましたとおり、公共施設の関係、特に小中学校が、公共施設の再整備計画を以前、本市では策定をしているのですが。そこには、小中学校の再整備にまだ計画としてできておりませんので。それを今年度契約して、来年度方向性を策定していくのですけれども。そういったものをしっかり策定し、その中でまた優先順位をつけていきながら、このデッキについて、必要性について考えていきたいと思っています。ただ今いただきました御意見も受け止めにさせていただきながら、今後について、また考えを深めていきたいと思っています。

【参加者】

そもそもどういった必要性があつて。私、この座間にそんな長く住んでないので、何があつたとかどうかとか、よく分からないのですけれども。どういった必要性があつてそのデッキを作るという話になったのですか。

【市長】

もともと、小田急相模原駅の周りの再開発事業というのがございまして、その再開発事業の中で、回遊性というものですかね。商業施設をつなぐ、もともとペDESTリアンデッキというのは、通行される方々の回遊性というところで、小田急相模原駅周辺の商業施設等をつないで、回遊性を担保することで、歩行者の回遊性を担保することで、その商業施設、まちの活性化になるというところで、計画がされていたと私は認識をしています。ですが、その再開発事業も、先程申し上げましたとおり、かなり長期にわたってきましたので、もともとの事業の内容から、いろいろ変更になりまして、現在の形になりました。もともとそのリビオ、座間市側のマンションのほうも、商業施設が入る予定があつたのですけれども。実際には、商業施設は1階の部分はあるのですけれども、今、公共床で保育園ですとか子育て支援センターですとか、あとカフェですね。コミュニティカフェができました。そういったことも踏まえながら、通行量ですとか回遊性の部分、まちの活性化が望まれるという、見込まれるということと。公共施設、本当に少子高齢化の中で良質なものを次世代に引き継いでいかななくてはならないということがありますので、今ある現存の公共施設をどのように維持をし、次世代に引き継いでいくかというのを大きな課題になってい

ますので、そういったものを整理する中で、今後、その優先順位等をどのようにしていくか、熟慮をしていきたいというふうに思っています。以上です。

【コンサルタント】

ありがとうございます。それでは、前の方、お願いします。

【参加者】

政策2に対して、質問をさせていただきます。ちょっと先に、今日は遅れてきたので、この議論をされているか分かりませんが。遅れた関係で同じことを言うかもしれません。

何をやるにしても、いろんなお金の使い方、「こうして欲しい」「ああして欲しい」やはり市が、人が集まって企業が集まって税金を落としていく。そういう収入がないと何もできないということを考えていますので。そこが1番、このプランの中で大切だと私は思っています。その中で、産業振興というテーマがあります。この方向性、活性化を支援します、と言っているんですが、非常に抽象的なものなので、なかなかそのKPIを付けるのは難しいとは思いますが。成果指標をつくるのは難しいとは思いますが。「活性化を支援します」と、市として言っているのであれば、どのように支援したらいいのか、どういうふうな案件を具体的に有効性のある支援をしたのか。また、検討、たたき上げとして出てきたのかということは、KPIとして出ないと、やはり「本当に仕事しているの？」というのが、多分成績表を作るときに分からなくなってしまうと思うのです。今、成果指標といって掲げられているのは、製造品出荷額、卸売販売額。これって多分、この指標というか施策を測るのはちょっと違うのではないかな、と私は思います。では、どこまでどういう活性化を支援したのかということ、まずそれに対するKPIがあってしかるべきだと思いますので、是非その辺御考慮をお願いします。

【コンサルタント】

ありがとうございます。政策2の中で、特に産業振興の施策に関する成果指標に関する御意見だったかと思います。市長、よろしくをお願いします。

【市長】

御意見いただきまして、ありがとうございます。今、ご質問の中でもありましたとおり、市の活性化というのは、大変重要だと私も思っています。産業振興が大変重要だと思っておりますし、また、本市、人口密度が大変高い市でありますので、交流人口を増やしていくということも大変重要だと考えています。そのような中で、本市としてどのような、これまでの取組というところで申し上げますと、例えば利子補給の関係ですか。様々な産業に対しての支援等を行っています。当然、市として、あと固定資産税の関係、各企業さんが新しい設備を整えるときに、そういったものに対しての支援等行っている経過があります。そのようなことがあります、今後ともそれ

それぞれの企業さんが座間市で仕事がしやすいような環境をさらに整えていく必要があると思っています。当然、その異業種での連携等も必要であると思っていますし。適宜、適切にその時期を捉えた政策というのも大変重要だと思っています。本市では、ふるさと納税の返礼品、これまで取り組んできていないのですけれども、今年度、ふるさと納税の返礼品も取組をさせていただきます。これは地域の産業の活性化というところを踏まえまして、取組をさせていただくことを決めました。今後とも、地域の企業さんとも意見交換などしながら、どのような形で本市が支援をしていったら良いのかということ、また、異業種の交流等も含めて、地域で産業をどのように盛り上げていったら良いのかということを考えていきたいと思っています。以上です。

【コンサルタント】

ありがとうございます。前の方、もう一度お願いします。

【参加者】

もう少し補足というか質問をしたいと思います。今、市長のお考えですと、今ある範囲の中で何かしようと、もがかれているような気がするのですが。なかなかそういうのって、難しいと思うのです。要は産業構造も変わっているし、今までも日産がなくなって、その中で次の一手を打たなきゃいけないというところで、市の中の産業構造を変えていかなきゃいけない中で、抜けたのだから新しいものをまた入れる、又は新しいものを創造する、という発想がない限り、今のあるメンバーの中で、もちろん今の企業さんが足りない、もしくは能力がないとか、そんなこと全然ないのですけども。要は、何かイノベーションを起こさないと、新しいものをつくっていかないと、やはり振興ってしないものなのです。それが、すみません、今の御説明だと、まったく新しいものを入れようということじゃなくて、今の企業さんに対して補助金出したり、利子を付けてあげたり、ということの発想はもう少し変えないと、近隣の市でもいろんな大きい企業さんがその近隣の市に本社を移すだとか、ダイナミックに動いている。これは競争ですから。座間市、負けてしまいます、これ多分と思いましたので。その辺り、座間市の中で皆さん、職員さん、非常に能力高い方ばかりなので、知恵を出し合って、是非、座間市をいかにしたら市がリーダーシップ取って振興できるか、ということ、真剣に考えていただきながら、このKPIを作ったらいいのかなど。一市民として思いました。以上です。

【コンサルタント】

よろしくお願いします。

【市長】

御意見いただきまして、ありがとうございます。ただ今、御意見をいただきましたが、そのような視点も今後大変重要だと思っています。ただ、一つご質問の中で訂正をさせていただきたい

のは、日産の座間事業所は現存しています。生産ラインは、おっしゃるとおり時代の流れで産業の構造というのは変わってまいります。今現在、見ますと、市内、物流倉庫が大変増えてきています。これはインターネットでの販売等が進んでおりまして、この流れというのは、しばらく続くのだろうな、ということは思っています。そのような中で、今仰っていただいた御意見を受け止めさせていただきながら、どのような、市民の方々からも、どのように、このまちとして稼いでいくかといった御意見もかなりいただいていますので、市として中長期的にどのような方向で進めていったらいいかということは、また考えさせていただきたいと思います。御意見受け止めさせていただきます。以上です。

【コンサルタント】

ありがとうございます。その他、いかがでしょうか。

それでは、真ん中の方、よろしく申し上げます。

【参加者】

今のお話を聞いていて、確かに他の市とかふるさと納税とか企業で何とかします、というのはすごくよく分かるし。それを市役所の皆さんで頑張ってください、というのもすごく分かるのですが。せっかく人口密度の多い座間市なので、多分、東京とか市外の大企業で勤めている優秀な方がいっぱいいらっしゃると思って。そういう市民の方から案を募るみたいな。アイデアをもらうとか。そういうのを利用して、それを活用して市役所が何とかしてくれるような座間市にして欲しいなと思います。私、今まであまり市の議会の傍聴に行くとかしたことがなかったのですが、傍聴していて、私、ただの一般主婦なので、こんなことして市議会はやっているのだと思って見ていたのですが、何か皆さん反対はすごく言うのですが、では、それからどうすればいいのか、と全然言ってくれなくて。何か見ていると悲しくて。座間市のことなのに、それ反対だったら「代わりにこういうことしましょうよ」とか、何かもっとみんな案を出してくれたらいいのに、と思いました。せっかく座間のことを考える市議会の皆さんだし、小学校なんかでも班を作ってみんな一生懸命いい案を出してやりましょう、とか勉強しているのに。何かこう、何だろう、うまく言えないのですが、反対するばかりではなくて、それを反対するのだったら、こういう案がありますよ、とか、そういう話し合いができるような座間市になって欲しいな、と思います。

あと、全然違うかもしれないのですが、公共施設についてなのですが、確かに公共関係のことといえばお金がすごく掛かるし、重要なことなのですが、やはり、私、東地区文化センターの運営とかやっているのです。それで、コロナがある前は、結構全国大会とか、一般主婦なのにそんなところに行って、他の市の公民館の話とか、いろいろ聞いていたのですが、特に多いのが、公共施設でサークルをしたりするような公民館ですが、それだったら別に公共施設でなくても。うまく言えないのですが、公民館がなくなるという市も増えている中で、研

修というかその中に結構今、災害時の避難所とかそういうなんかいろいろあって。なので、公共施設は、何か今、すごく地震とかどんどん増えていて、その時にもし家が崩れたら、とか思うと、みんなそういう公共施設に避難をするではないですか。だから、やはりそういう公共施設というのは、改めて綺麗にするとかそういうのではなくて、例えばトイレだけをしっかりしたものにするとか。私、サン・ホープという児童ホームでもやっているのですけれども。建物が古くて昭和の建物で、でも学童が入っていて、あと障がい者の預かり施設が入っていて、あと子育て支援センターも入っているのです。結構学童は近辺の子供たちが来るのですけれども、障がいのある子供たちの一時預かりとか、あと2階の支援センターとかには市内のいろんなところから来ているので。サン・ホープという建物自体は、災害時は障がい者のための避難所、と聞いてますので。こういうところも老朽化して、特にトイレの水道が上がってきましてしまったりとかにおいが臭かったりとか、使えないトイレが出たりとか、直すのも大変だと思うのですけれども。そういうのがだいたい、新しく建て替えて欲しいのは山々なのですけれども、お金があるときに災害時にも使える、そういう公共施設を目指して欲しいなと思います。

【コンサルタント】

ありがとうございます。市長、いかがでしょうか。

【市長】

御意見いただきまして、ありがとうございます。まず1点目として、市民の方々からの様々な政策に対して御意見を伺ったらどうかという御意見だったと思います。おっしゃるとおり、大変優秀な市民の方々が多くいらっしゃると思います。また、本市としても例えば民間の活力を生かしていくとか、あと市民協働という、市民協働のまちづくりを推進していますので、多くの手法で市民の皆さんの御意見を伺い、市民の皆さんのアイデアから施策を展開していくということにも、これまでも取り組んでいますが、より一層そういった部分は力を入れていきたいと考えています。また、御意見をいただくのも、できる限りハードルの低いような形で御意見をいただけるような仕組みづくりなども考えていきたいと思っています。

また、公共施設に関しては、災害時への備えも含めて整備をという御意見だったかと思います。災害時で公共施設を活用することが多くありますので、そういった視点も踏まえながら、今後、公共施設の再整備に向けて取組を進めていきたいと思っています。貴重な御意見いただきまして、ありがとうございます。

【コンサルタント】

ありがとうございます。時間の関係で、もうお一人ぐらいからお受けできるかと思いますが、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

最後、よろしくお願いします。

【参加者】

これは他のところでも言おうと思ったのですけれども、実は今、ボランティアという関係もあって、県立座間谷戸山公園というのがあるのですけど。経過を話すと長くなってしまいますけど、県立座間谷戸山公園は、座間市が願いに願って全市を挙げて県立公園にして、中心になって教育委員会がデータや資料を揃えたということもあるのですが、日本で最初の都市型生態観察公園という、日本で最初のカテゴリーができたというような、ポップな公園なのですけれども。実は今、県の公園財団が、公園の中で出る収穫物に関わる事業を有料化するという姿勢になったということで、公民館もやっていた親子で米作り教室というのが、有料な、お金を取るということになったので、この北地区文化センターが降りたのです、事業を。それはなぜかという、公教育の無料の原則というのを貫こうという、館長の正しい判断だと思っていますけれども。公共施設の使い方の「公共」という部分ですけれども。PPPだとかPFIだとか、そういった民間の、要するに資本に入ってもらって、運営を委託する指定管理だとか、そういう形が出ていますけれども。その施設の有料化について、公共施設はなるべく税金でできているものだからというところで、有料化すべきではないと僕は思うのですけど。その辺のところ、財政的なところもあると思うのですけども、公共施設再編の話もありましたので、市長として、どういう考え方で臨んでいるのか、聞かせていただきたいのですが。

【コンサルタント】

市長、よろしくお願いします。

【市長】

御意見いただきまして、ありがとうございます。公共施設の、極力有料化をしないで欲しい、といった御意見かと思えます。今、先程からお話をしているとおり、公共施設の再整備計画をさらに推進をしていきます。そのような中で、全体的な財政の負担など、見えてくるものがあるかと思えます。当然、おっしゃるとおり、極力、利用される皆さんの負担軽減ということは考えていきたいと思えますが、利用者の、以前にその公共施設の関係でアンケートを取っている過程もございます。その利用者負担というところも、そういった御意見の中には意見としてございました。それから、また民間活力を有効活用するといったような御意見もございましたので、そういったところを全体的な財政負担とバランスを見ながら、今後、判断をしていきたいと思っています。以上です。

【コンサルタント】

それでは、まだまだ御意見は頂戴したいところではございますが、お時間の都合上、意見交換はこれにて終了させていただきたいと思えます。

最後に、市長から総括いただければと思います。よろしく申し上げます。

【市長】

本日は大変お忙しい中、このように多くの方々にお集まりをいただきまして、座間市の未来に向けた多くの御意見をいただきまして、本当にありがとうございました。本日いただきました御意見は、真摯に受け止めをさせていただきまして、また今後の次期総合計画、第五次座間市総合計画の策定に生かしていきたいと考えていますし、またそれぞれの施策などの中で、本日いただいた御意見を受け止めさせていただきながら進めていきたいと考えています。先程もちょっとお話がございましたが、国土強靱化地域計画というのも策定をすることになっています。こういったものも、冒頭に申し上げましたが、ざま未来プランには練り込んでいく考えでいます。時代の流れが大きく動く中で、今の時代に合った形で次期総合計画策定をさせていただき、また多くの市民の方々から自分たちの力をもっと活用して欲しいといったような御意見もいただいていますので、市民の皆さんと共にこの座間市の未来を創り上げていきたいと考えていますので、今後とも市政に対しまして御理解、御協力をいただきまして、皆さんと共に創るまちづくりを目指していきたいと思っております。

今後とも、どうぞよろしく申し上げます。本日は誠にありがとうございました。

【コンサルタント】

それでは、私の進行はここまでといたしまして、進行を市にお返しします。

5. 閉会

別ファイルにまとめています。